

37 ヒメアマツバメ

(アマツバメ目)

兵庫県ランク:B

Apus nipalensis

繁殖個体群:B 越冬個体群:一 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

本州中・南西部、四国、九州、沖縄では留鳥。兵庫県では局所的だが周年見られる。平地の河川沿いや住宅地周辺に生息し、飛んでいる小昆虫類を捕食する。建造物に単独または集団で営巣する。

写真なし

国内分布

本州北部、本州中・南西部、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、西宮市、豊岡市、(赤穂市)、宝塚市、川西市、淡路市、香美町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県内には1980年代に入ってから生息するようになり、1983年4月に川西市の高等学校で初めて繁殖が確認された。近年は生息地が各地に広がっているが、個体数はあまり多くない。

保護上の留意点

人工構造物で集団営巣するため、繁殖が不安定なところがある。保護のためには、現在営巣している建造物周辺での長期的にわたる保全措置を検討することが必要。